

# 2020年度(第9回)定時総会資料

## 第1号議案

議事録署名人名選出の件

て特別講演(栄養士・管理栄養士研修会)、総会議事を次のとおり開催した。

## 第2号議案

2019年度事業報告および収支決算報告並びに監査報告承認の件

日時 2019年5月25日(土) 10時~14時40分  
 場所 千葉市美浜区若葉2-10-1  
 千葉県立保健医療大学 図書館棟大講義室  
 内容 総会式典 10:00~10:40  
 特別講演 10:40~12:20  
 「食事摂取基準の改定(2020年版)について」  
 講師 聖徳大学人間栄養学部人間栄養学科  
 教授 池本 真二  
 総会議事 13:25~14:40  
 出席者数 988名(内委任状831名)

## 2019年度事業報告

### 1. 2019年度定時総会の開催

2019年度定時総会は、千葉県健康福祉部次長 大谷俊介氏、千葉県議会議員・本会顧問 佐野彰氏をはじめとする10名の来賓をお迎えして式典を行い、引き続き

### 2019年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などをとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務をとおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学などに跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどをとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。</p> <p>以下に掲げる個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。</p> <p>以下に2019年度事業の実施概要を記載する。</p>	
<p>1. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号)</p> <p>1. 栄養・健康に関する調査研究事業</p> <p>1-1 栄養指導研究所の運営(学術部)</p> <p>栄養士・管理栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援や普及などに関する事業を充実させ、それをもとに食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目指すため、各職域事業部における研究業務の推進及び栄養士・管理栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画などの充実を努めた。また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考・かしこく食べる」の見直しなどを行った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p> <p>2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興</p> <p>2-1 千葉県栄養改善学会の開催(学術部)</p> <p>栄養学と栄養改善技術に関する最新の知見に基づく講演・シンポジウム、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、よりおいしく安全な食事作りや効果的な栄養指導・給食管理・食事療法などの充実を図ることを目指した。2月1日(土)千葉県立保健医療大学において、「子どもの社会投資が未来を開く~子どもの貧困問題への取り組み~」と題し、宮本みち子氏による特別講演と「介護予防のための新しい栄養改善手段」と題した熊谷 修氏の教育講演を実施した。また会員からの一般口演(21演題)と協賛会員による優良商品の展示を行った。参加者数は157名であった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p> <p>2-2 「食育媒体の作製と開発」の実技研究会の開催(福祉)</p> <p>研修の見直しをしたため、予定がなく実施しなかった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究、開発 ④講師は食育指導士 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	

## 2-3 事例研究会の開催（地域活動）

県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発を目指し、様々なライフスタイルに即した指導方法の研究に努める。

2月9日（日）に本会事務所において食に関する事例として「高齢者の食事」をテーマに協賛会員のマルハニチロ(株)高垣憲晴氏にやわらか食についての講話・実習をお願いした。参加者は18名であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査・研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、事業に活用することを目的として、食や栄養に関する学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、活動だよりなどを掲載し、「栄養千葉」と併せて3回（4月、8月、12月）に発行した。記事は県民や会員外の栄養士・管理栄養士が読むことができるよう、ホームページへ掲載するとともに事務所掲示板へ掲示した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ④雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-5 栄養士調理師合同研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日頃の治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し治療期間の短縮、疾病の再発防止、および、病院給食の質の向上に役立てることを目的に、10月20日（日）に千葉市生涯学習センターにおいて65名が参加して開催した。内容は、研究発表8題と特別講演として「嚥下調整食の学会分類を理解する」と題し、駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科准教授 工藤美香 氏による講演を行った。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②主催者の広報、ホームページ ③調査・研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-6 千葉県内医療機関栄養業務実態調査の実施（医療）

県内における医療機関の栄養業務の実態を把握し、充実を図ることを目的として実施を予定していた実態調査は、2019年度中に行われる第39回食事療法学会の準備のため、次年度に行うことになった。

【①県内医療機関 ②主催者の広報、ホームページ ③調査・研究 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

### 3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、平成30年度の食育健康料理教室の実施にあたって考案したレシピ（料理）のうち、広く普及することが必要と思われるレシピを四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③開発 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

### 4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。各種委員会・会議は以下のとおり。

千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策協議会、千葉県産米需要拡大推進協議会、千葉県食品等安全・安心協議会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県介護支援専門員協議会、千葉県介護予防市町村支援検討会議

【①県民 ②県の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

### 4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の策定に協力した。千葉市内各区で開催される多職種連携会議に参加して地域の取り組み推進に関わるとともに、千葉市在宅医療推進協議会に参画し、連携体制の構築に努めた。委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、健やか未来都市ちばプラン推進協議会、千葉市学校給食センター運営委員会、千葉市在宅医療推進連絡協議会

【①市民 ②千葉市の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として実施した。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの掲載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施に当たっては、適宜、関連諸科学の定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。

事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業
定款上の根拠	第4条第1項第2号
事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。健康増進法（平成14年8月2日法律第103号）第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適うものである。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	

この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1) 1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2) 2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3) 3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士の育成に努めた。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。

以下に2019年度事業の実施概要を記載する。

## II. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業（定款第4条第1項第2号）

### 1. 継続教育・生涯教育事業－基幹研修制度

#### 1-1 生涯教育研修会の開催（学術部）

栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められる。そこで従来から行ってきた生涯学習からキャリア形成を支援できる制度とするために、平成26年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行された。目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、栄養士・管理栄養士として国民のために役立つ能力を身につけることである。生涯教育には「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と、専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修があり、2019年度は基本研修として必須科目5単位を含む9単位と実務研修8単位を6月29日（土）、7月21日（日）、8月31日（土）、9月28日（土）、10月26日（土）の5日間にわたって開催した。受講者数は122人で、延べ取得単位は775単位であった。8、9、10月の会場については参加申し込み者が定員を超過したため、予定していた栄養士会事務所から千葉県教育会館に変更した。また、開催に際しては、開催案内をホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募った。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 1-2 日本栄養士会との共同研修事業の実施（事業部、福祉）

（公社）日本栄養士会との共同で栄養士・管理栄養士として対応すべき全国的課題を素材に、地域性を活かして実践できる技術、能力を身に付ける研修事業として行った。「インスタントラーメン健康と栄養セミナー」として10月31日（木）に千葉市消費生活センターにおいて、【第一部】調理実習「簡単料理でラーメン大変身！」と【第二部】講演会「メディア情報の見極め方～誤解だらけの食にまつわる『危ない話』～」を実施した。参加者は調理実習26名、講演会65名であった。

【①栄養士・管理栄養士・県民 ②事務所掲示板、ホームページ、チラシの配布 ③講座・セミナー ④管理栄養士・医師等関連職種、大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

#### 1-3 よりソリプロジェクト・人材育成研修会の開催-地域ケア会議に参加できる人材の育成-（学術部）

地域包括ケア推進における栄養士・管理栄養士の役割の明確化と、地域ケア会議や市町村単位で進められている介護予防・日常生活支援総合事業に対応できる人材の確保と育成、継続したスキルアップ体制の確立に向けて研修を行った。今年度は9月21日（土）に千葉県栄養士会事務所で開催した。講師はワーキング参加者等3名が務め、演習を充実させて行った。参加人数は台風15号の影響があり4名であった。

【①管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 1-4 栄養士・管理栄養士研修会（総会時特別講演）（総務部）

定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考える上での基本的な事柄について講演をいただくことを目的として、総会終了後に「食事摂取基準の改定（2020年版）について」と題して、聖徳大学人間栄養学科教授 池本真二氏に講演をいただいた。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座 ④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

### 2. 特定職域・特定種類業務研修事業－職域研修制度

#### 公衆衛生事業部

##### (1) 中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2019年 4月25日(木)	第1回 中央研修会	講演 「糖尿病性腎症の予防と栄養士の係わり」 講師 千葉県循環器病センター 臨床研修アドバイザー 医師 平井 愛山 説明 「平成31年度健康づくり・栄養改善事業について」 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班 主査 高橋 希	千葉県教育会館	61名 (他事業部9名) (会員外1名)
10月19日(土)	第2回 中央研修会	事例発表 助言者 千葉県立保健医療大学 栄養学科 准教授 荒井 裕介 ① 「『柏市行政栄養士業務関係資料』の作成 ～柏市行政栄養士スキルアップと他課連携推進に向けて～」 発表者：柏市保健所 ② 「日々の業務を通し栄養士をつなぐ木更津市栄養士連絡会 ～市民の健康を守るために～」 発表者：木更津市 ③ 「糖尿病予防に向けた活動 ～集団健診地区別調査を 基に取り組んだこと～」 発表者：横芝光町 ④ 「給食施設従事者に対する減塩に関する支援事業の 実施効果の検討」 発表者：印旛健康福祉センター 講演 「実践事例報告のまとめ方② －データの収集・まとめ方－」 講師 千葉県立保健医療大学 栄養学科 准教授 荒井 裕介	千葉県教育会館	62名 (他事業部1名)

12月14日(土)	第3回 中央研修会	講演 「成果を出すための事業計画の作成・評価」 講師 女子栄養大学 栄養学部 教授 田中 久子 説明 「壮年期の肥満予防・減塩対策」に関する事業計画書について 説明者 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班 グループワーク「評価を踏まえた事業計画（壮年期の肥満予防・減塩対策）の作成」 助言者 女子栄養大学 栄養学部 教授 田中 久子	千葉県教育会館	44名
(2) ブロック研修会				
ブロック名	期 日	内 容	会 場	出 席 数
東 葛	2019年 5月15日(水)	【健康福祉センター・保健所業務検討】 (1) 給食施設の災害対策の推進① (2) 事業所給食施設向け啓発媒体の活用①	野田健康福祉 センター	5名
	7月26日(金)	【市栄養士業務連絡会】 (1) 平成31年度事業内容について (2) 食生活改善推進員及び健康、食育を推進する ボランティア団体について (3) 授乳・離乳の支援ガイドの改訂への対応について (4) 新人栄養士向けの教育マニュアルの作成について	浦安市 健康センター	20名
	10月3日(木)	【健康福祉センター・保健所業務検討】 (1) 給食施設の災害対策の推進② (2) 事業所給食施設向け啓発媒体の活用② (3) 給食施設への指導内容等の共有	柏市保健所	5名
	2020年 2月17日(月)	【市栄養士研修会・業務検討会】 (1) 講演会 講演 「アンケートデータの分析と評価 ～模擬データを使った演習～」 講師 千葉県立保健医療大学 栄養学科 准教授 荒井 裕介 (2) 業務検討 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施のための取組について	習志野市 保健会館	19名
	2月20日(木)	【健康福祉センター・保健所業務検討】 (1) 給食施設の災害対策の推進③ (2) 事業所給食施設向け啓発媒体の活用③	柏市保健所	5名
黒 潮	2019年 8月27日(火)	(1) 業務検討 健康福祉センター：食品表示指導について 市町：高齢者の食生活支援について (2) 講演会 講演「地域包括ケアシステムの推進における行政栄養士の役割」 ～行政栄養士の視点で捉えた地域・他職種との体制づくり～ 講師 鴨川市立国保病院 管理栄養士 池田貴子 (3) 講話「介護食の実際」～在宅・施設での活用事例～ 講師：株式会社クリニコ 千葉地区担当 管理栄養士 朝倉奈々	長生合同庁舎	13名
	2020年 1月29日(水)	(1) 事例発表 ①演題「長生保健所管内給食施設における台風15号・ 19号の対応状況と給食施設支援について（報告）」 長生健康福祉センター（長生保健所） 地域保健福祉課 片寄静香 ②演題「尿中塩分測定を実施して～今後の減塩対策につなげる～」 大多喜町役場健康福祉課 金坂直子 (2) 講話「旭市における災害時栄養・食生活支援の取組に ついて」 講師 旭市健康管理課主任栄養士 實川圭子 (3) 業務検討 「災害時栄養・食生活支援の取組及び課題について」	長生合同庁舎	17名
さざなみ	2019年 8月6日(火)	(1) 事例発表 発表：鋸南町、富津市、君津市、木更津市、 君津健康福祉センター (2) 業務検討 ①事業説明：市原市における高齢者事業について ②講演「地域包括ケアシステム推進における行政栄養士の役割」 ～行政栄養士の視点でとらえた地域・他職種との体制づくり～ 講師 鴨川市立国保病院 管理栄養士 池田貴子 ③意見交換	君津健康 福祉センター	18名

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出 席 数
さざなみ	2020年 2月21日(金)	(1) 業務検討 健康福祉センター：①給食施設指導について ②食品表示指導について 市町：災害について ①災害時における行政栄養士の役割と課題、家庭備蓄の啓発について(台風15号、19号等被災経験から) ②演習 電気ポットを使用したパッキング	安房健康 福祉センター	17名
千 葉 市	2019年 8月5日(月)	(1) 業務検討 平成29年国民健康・栄養調査結果の概要について	千葉市保健所	12名
	9月2日(月)	(1) 業務検討 食育白書 ～他自治体の食育の取り組みを知り、事例紹介の方法を学ぶ～	千葉市保健所	5名
	10月7日(月)	(1) 業務検討 授乳・離乳の支援ガイドについて	千葉市保健所	6名
	11月11日(月)	(1) 業務検討 大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン①	千葉市保健所	13名
	12月4日(水)	(1) 業務検討 地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドラインについて	千葉市保健所	10名
	2020年 1月8日(水)	(1) 業務検討 大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン②	千葉市保健所	8名
	※3月の開催は、新型コロナウイルス対応により中止			
<b>医療事業部</b>				
(1) 中央研修会				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2019年 4月21日(日)	研 修 会	講演 「次期診療報酬改定について」 講師 公益社団法人日本栄養士会医療事業部 企画運営委員長 原 純也	千葉大学医学部附 属病院3階セミ ナー室	72名 (会員外1名)
7月7日(日)	プ ラ ク テ ィ ス セ ミ ナ ー	講演 「カルテ記録のスキルアップ」 講師 独立行政法人国立病院機構波川医療センター 栄養管理室長 須永 将広	千葉市文化セン ター9階 会議室	89名 (会員外3名)
(2) 地区研修会				
地 区	期 日	内 容	会 場	出 席 数
千葉地区	2019年 9月21日(土)	講演 「嚥下調整食分類2013について理解する」 講師 (株)ヤヨイサンフーズ 管理栄養士 鈴木智子	井上記念病院 8階第一会議室	11名
	11月30日(土)	施設見学「ハラール対応について実際に料理を味わい理解を深める」	神田外語大学内 アジアレストラン食 神	3名
東葛南部	2019年 8月24日(土)	講演 『はじめまして。研究～基本の「き」を学んではじめの一步を踏み出そう～』 講師 千葉県済生会習志野病院図書室・患者図書室 あおぞら 図書司書 佐藤正恵 意見交換会「今回研究で使うアンケート(質問用紙)の共同作成」	千葉県済生会習志 野病院 図書室	9名
	12月7日(土)	講演 「実践!!カーボカウント」 講師 順天堂大学医学部附属練馬病院 栄養科 係長 高橋徳江	順天堂大学医学部 附属浦安病院 外来3階カンファ レンスルーム	10名
東葛北部	2019年 11月8日(金)	講演 「職場でも家庭でも災害時に必ず役立つパッキング」 講師 千葉県栄養士会災害対策委員会副委員長 佐々木徹	アミューゼ柏	22名
印 旛	2019年 7月27日(土)	講演 「カーボカウントの基礎と運動によっての血糖変動について」 講師 黄内科 管理栄養士 岩井弘美	ミレニアムセンター 佐倉 調理実習室	14名
	11月16日(土)	講演 「嚥下学会分類解説セミナー」 講師 ニュートリー(株) 管理栄養士 鈴木亜紀、茂木美香	ミレニアムセンター 佐倉 調理実習室	15名
香取海匠	2019年 10月4日(金)	講演 「嚥下食について～お粥や刻み食のコード分類～」 講師 ニュートリー(株) 管理栄養士 鈴木亜紀	イムス佐原リハビ リテーション病院 会議室	14名
山 武 長 生 夷 隅	2019年 6月22日(土)	講演 「嚥下調整食」 講師 ニュートリー(株) 管理栄養士 鈴木亜紀	東千葉メディカル センター	14名
	11月23日(土)	講演 「経管栄養」 講師 テルモ(株) 学術チーム 主任 大塚亜紀子	東千葉メディカル センター	11名
安 房	2019年 7月18日(木)	講演 「脱水症と水分管理」 講師 (株)明治 係長代行 栄養士 横山康幸	亀田総合病院 職員食堂	18名
	2020年 1月23日(木)	講演 「がん治療と栄養管理」 講師 テルモ株式会社 医薬品千葉チーム 課長代理 馬上重弘	安房地域医療セン ター 6階レストラン	18名

地 区	期 日	内 容	会 場	出 席 数
君津市原	2020年 2月5日(水)	講演 「これからの糖尿病食療法」 講師 自治医科大学附属さいたま医療センター 内分泌代謝科 教授 原一雄 ディスカッション「糖尿病患者指導における管理栄養士の役割」 ・帝京大学ちば総合医療センター栄養部 係長 最上美女江 ・君津中央病院 臨床栄養科 主任 目黒美和子 ・玄々堂君津病院 栄養科 管理栄養士 伊藤友美	玄々堂君津病院 4階大会議室	25名
	2020年 2月10日(月)	講演 「～地域をつなぐ栄養管理～看護師でもできる嚥下訓練」 講師 医療法人大誠会内田病院 看護師 伊東七奈子	君津中央病院 4階講堂	14名
		延べ件数14件	延べ参加数198名	
(3) 機関紙の発行 8月、12月、3月 機関紙発行「菜の花」99～101号 各550部				
<b>学校健康教育事業部</b>				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2019年 5月18日(土)	研 修 会	講演 「学校における非常災害時に備えた対策について」 講師 千葉県栄養士会非常災害対策委員会 委員長 鯨岡春生	千葉県教育会館	19名 (会員外1名)
6月22日(土)	研 修 会 (研究教育共催)	講演 「スポーツをする人のための栄養管理」 ～競技力向上を目指して～ 講師 株式会社LEOC 日本スポーツ栄養学会 公認スポーツ栄養士 関根 豊子	千葉県立保健医療 大学	113名 (他事業部91名 ≪学生含む≫会 員外8名)
11月9日(土)	勉 強 会	正しい配膳方法を学ぶための教材作成	公益財団法人千葉 県学校給食会	30名 (会員外11名)
12月7日(土)	研 修 会 (研究教育共催)	講演 「小児生活習慣病予防に向けた個別指導のあり方について」 ～身長・体重成長曲線と肥満度曲線を活用した個別指導 を中心に～ 講師 和洋女子大学家政学部 准教授 杉浦 令子	千葉県立保健医療 大学	34名 (他事業部17名、 会員外2名)
<b>福祉事業部</b>				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2019年 4月16日(火)	研 修 会	講演 「高めようだしパワー・始めよう減塩ライフ！」 講師 株式会社マルハチ村松 安藤貴義	千葉市民会館	27名
7月8日(月)	研 修 会	講演 「介護報酬改定の概要と栄養士・管理栄養士の役割」 講師 日本栄養士会福祉事業部 企画運営委員長 加藤すみ子 実践活動① 「医療機関と介護施設の栄養に関する連携 ～再入所時栄養連携加算～」 特別養護老人ホーム松寿園 管理栄養士 月井英美 実践活動② 「千葉県の経口維持加算算定率UPを目指そう！ ～咽喉マイクを使って、まずはIから～」 特別養護老人ホームアコモード 管理栄養士 寺山加恵	千葉市民会館	56名 (会員外8名)
8月2日(金)	研 修 会	講演 「保育の中の食育へのかかわり」 講師 植草学園大学発達教育学部 准教授 小川 晶	千葉市文化セン ター	53名 (会員外11名)
9月2日(月)	研 修 会	講演 「食事摂取基準2020年版の概要」 講師 女子栄養大学 教授 上西一弘	千葉市民会館	94名 (会員外8名)
2020年 2月20日(木)	研 修 会	講演 「アドラー心理学」 講師 早稲田大学人間科学学術院 教授 向後千春	千葉市民会館	25名
<b>地域活動事業部</b>				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2019年 4月20日(土)	研 修 会	講演 「理学療法士からみた食事の重要性」 講師 千葉県理学療法士会会長 田中康之	蘇我コミュニティ センター	33名 (会員外1名)
5月28日(火)	視 察 研 修 会	内容 「旬な味覚 並びに 郷土料理を学ぶ。」	南房総「ろくすけ」	14名 (会員外1名)
7月27日(土)	研 修 会	内容 睡眠セミナー 「睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に！」 講師 睡眠健康指導士 新矢 昭吾	蘇我コミュニティ センター	31名 (会員外1名)
9月20日(金)	情 報 交 換 事 業	内容 「日本の食材を使った中国料理を頂きながら情報交換を行う」	京成千葉ホテル ミラマーレ 中国料理 景山	10名
10月19日(土)	研 修 会	講演 「糖尿病の重症化予防のための地域医療連携について」 講師 内科医 平井愛山	千葉市内	24名 (会員外1名、 他事業部2名)
2020年 1月22日(水)	視 察 研 修 会	内容 「千葉県の畜産を学ぶ。季節の味覚の体感」	東総地域	12名

2020年 2月9日(日)	事例研究会	介護食について ～食べる機能と介護食、その作り方～ 講師 マルハニチロ株式会社 関東支社 食品営業部 メディアケア販売課課長役 高垣 憲晴 氏	千葉県栄養士会 事務所	18名 (会員外1名)
8、12、3月	機関誌発行	172～174号 各300部		

### 研究教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2019年 6月22日(土)	研 修 会 (学校健康教育 事業部共催)	講演 「スポーツをする人のための栄養管理」 ～競技力向上を目指して～ 講師 株式会社L E O C 日本スポーツ栄養学会 公認スポーツ栄養士 関根 豊子	千葉県立保健医療 大学	113名 (会員外8名)
12月7日(土)	研 修 会 (学校健康教育 事業部共催) 情 報 交 換 会	講演 「小児生活習慣病予防に向けた個別指導のあり方について」 ～身長・体重成長曲線と肥満度曲線を活用した個別指導 を中心に～ 講師 和洋女子大学家政学部 准教授 杉浦 令子 ※講演会終了後、情報交換会実施(臨地実習、研究教育事 業について等)	千葉県立保健医療 大学	34名 (会員外2名)

### 千葉地域事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2019年 7月2日(火)	給食施設研修会	演題 「つながる食育 乳幼児期・学童期の効果的な食育の実践 方法」 講師 白梅学園大学子ども学部子ども学科 教授 林 薫	千葉市総合 保健医療センター	220名
9月11日(水)	給食施設研修会	演題①「日本人の食事摂取基準2020について」 講師 淑徳大学看護栄養学部栄養学科 教授 渡邊 智子 演題②「給食施設における衛生管理について」 講師 千葉市保健所食品安全課主査 垂水 久美子	千葉市総合 保健医療センター	159名
2020年 1月23日(木)	給食施設研修会	演題 「実践に役立つアンケートのとり方まとめ方」 講師 鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科 教授 中谷 弥栄子	千葉市総合 保健医療センター	159名

いずれの事業も【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】として行った。

### 3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業(組織部)

公益目的事業を適正かつ円滑に行う上で重要な人材確保のため、本会の行う事業の必要性や意義などについて組織財政問題検討委員会において組織強化長期計画推進の取り組みなどの理解を深めてきた。職域事業部では、未加入者への入会案内文書の発送の実施、身近にいる未加入者への呼びかけ、スマートフォンを活用しての情報提供などを行い、入会の促進に努めた。

また、栄養千葉8月号発送時に全会員に対し、身近にいる未加入者に対して入会の案内を働きかける文書を同封した。

これらの他、卒業予定者への入会の働きかけとして、養成施設9校に対して「入会案内」などの配布をした。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、研修等の内容や開催日時、受講資格が開かれていることなどをホームページ、雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務家養成の見地から、適宜、定評のある研究者(大学教員)、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質の確保に努めた。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う栄養士・管理栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物などによる知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをとおして、県民の健全で裕り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項第3号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り込まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。
9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を規定しており、これを受けて、本事業は、「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り込まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、個々の県民の個性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)2つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動をとおして、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。

以下に、2019年度事業の実施概要を記載する。

Ⅲ. 県民が健康で裕り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業(定款第4条第1項第3号)

1. 個別特性対応型の自律支援事業

1-1 テレフォン栄養相談事業(広報部)

第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け、相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施した。事業の適正な運営を図るため、9月に担当者会議を開催した。3月は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため書面による会議とした。相談件数の増加に向けて事業の内容を千葉日報「現代食事考」の記事の後に記載する他、千葉県中小企業団体中央会「情報誌」に掲載した。本会ホームページのトップページに本事業の案内を掲載し、併せて食育健康料理教室などでチラシ配布を行った。相談件数は9件であった。

【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 特定保健指導の実施(総務部)

前年度に引き続き、中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部のほか今年度は市川支部が加わった。初回指導および6ヶ月の継続指導などの個人指導を行うほか、保健指導の受講率の向上を図るため、健診時腹囲の他1つ以上保健指導の要件のある者に対し初回面談を行い、かずさ支部、千葉支部、市川支部の健診時に担当者が向ういて個人面談を実施した。

これらを含め延べ48名(動機づけ支援24名、積極的支援24名)に対して保健指導を実施した。また、担当者の育成・確保のため7月8日(月)に担当者会議を実施した。

【①県民 ②主催者の広報、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-3 介護予防栄養改善事業の実施(総務部)

(株)ダンロップスポーツウェルネスの依頼を受け、成田市赤坂ふれあいセンターにおいて行われた介護予防教室の栄養改善を担当し、6月20日(木)参加者:66名と1月16日(木)参加者:58名に講演を行った。

また、地域包括支援センターにおける栄養改善事業への管理栄養士の積極的な参加を図るため、医療および高齢者福祉施設勤務経験者などの人材確保に努めるとともに、関係機関からの情報を入手するなど必要な取り組みを行った。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業(事業部)

日赤からの依頼がなく、実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

2. 集団特性対応型の自律支援事業

2-1 千葉市健康づくり大会への協力事業(千葉地域)

10月19日(土)千葉市きぼーるにおいて開催された市民健康づくり大会(健康フェア)に関係団体とともに参加し、運営に協力した。食生活相談コーナーではパネルや食事バランスガイド模型を展示し、栄養相談コーナーでは病気の予防と治療に関する食事の相談などに対応した。コーナー来場者は338名で、32件の相談があった。運営には会員9名があたった。延べ来場者数は4,924名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-2 がん予防展への協力事業(事業部)

9月のがん征圧月間にあたり、千葉県、(公財)ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターの主催により、「がん予防展・がん講演会」が県内の主な市街地のショッピングセンター内で開催され、がん予防・健康増進の意識高揚に努めた。9月7日(土)～8日(日)にイオンタウン館山において開催された。開催地域の安房地区の医療事業部会員4名が協力し、パネル展示やがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談を行った。参加者は2日間で延べ2,897名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③展示、相談・助言 ④栄養士・管理栄養士、関連専門職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-3 地域健康づくり推進事業(医療)

県内8地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他職種の団体が開催する健康増進に関するイベントに参加、協力し、地域住民に対する展示や食生活相談などを行った。

香取海浜地区 看護の日「栄養相談」5月11日(土) イオンモール銚子

東葛南部地区「健康フェア」11月23日(土) 千葉県済生会習志野病院

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催・協力 ⑥非該当】

2-4 看護の日行事への協力事業(千葉地域)

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日の行事が、5月11日(土)フレスポ稲毛で開催され、会員2名が協力し栄養相談などに応じた。相談件数は18件であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-5 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催(事業部)

栄養改善普及月間の行事として、食生活の改善に携わる栄養関係3団体(本会・千葉県食生活改善協議会・千葉県集団給食協議会連合会)の共催により9月26日(木)に第50回記念大会として、千葉県他の後援を得て千葉県教育会館において開催した。

2部構成とし、第1部は「大会式典」、第2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」として、駒沢女子大学教授 西村一弘氏による「災害は突然やってくる～その時あなたはどうする～」の講演を行い、主催団体会員及び県民336名が参加した。

【①県民 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ、他 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-6 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

県民を対象に生活習慣病などを予防し、健康寿命を延伸させるための知識を深めることを目的として、11月30日（土）に千葉県立保健医療大学を会場に開催した。講座1「食生活と健康」と題して千葉県栄養士会栄養指導研究所長 石井國男氏に、講座2「フレイルの概念と運動療法について」は塩田記念病院リハビリテーション科理学療法士 石渡正浩氏に、講座3「眠るための時間栄養学～食事を整えて良い睡眠と休養を～」は和洋女子大学准教授 多賀昌樹氏にそれぞれご講演いただいた。参加者は55名であった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報・毎日新聞千葉版への掲載、チラシの配布 ③講座・セミナー ④大学研究者、専門職 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-7 食育健康料理教室の開催（事業部）

この事業は平成16年度から公民館などを利用して、健康づくりと生活習慣病の予防、食育の推進を目的として県民に直接望ましい食と栄養についての実習を通じて話しかける事業として開始した。適正・円滑な運営を図るため、手引きの作成と担当者会議を開催し、メインテーマを「美味しく、楽しく、食事で元気に」、サブテーマを健康料理教室では「適度な塩分で100歳目指そう!」、食育料理教室では「やさいとなかよくなろう!」とし、統一メニューを作成した。今年度は（公財）ちば県民保健予防財団の助成を受けて行った。10月～12月に15会場（千葉市3会場・船橋市2会場・浦安市・鎌ヶ谷市・成田市・市川市・松戸市・市原市・富里市・銚子市・八千代市・袖ヶ浦市）で開催。延べ参加者は 275名であった。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシなどの配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室） ④栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-8 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係期間・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、食と栄養を通じた健康づくりの支援を行った。

10件の依頼に対して延べ19名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講座・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-9 親子料理教室の開催（学校健康教育）

今年度の親子料理教室は8月1日（木）成田市中央公民館、及び8月6日（火）に流山市立東深井小学校にて開催した。成田市では「夏野菜をおいしく食べよう」というテーマで、さばのパン粉焼きトマトソース、コールスローサラダ、かぼちゃの冷製スープなど旬の夏野菜をふんだんに使った料理にチャレンジした。親子が一緒に食事をしながら食への興味関心を高める良い機会となった。

【①県民 ②該当する学校へのチラシの配布 ③体験活動（料理教室）、講習・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-10 千葉市食育の日事業への協力（千葉地域）

千葉市主催のもと関係団体が協力し食育月間の行事として、6月22日（土）若葉区のラ・パーク千城台で食育のつどいが開催された。当会は「かしこく食べよう」をテーマに、野菜に関するクイズや食事バランスガイドの模型を用いて食べることの大切さを伝えた。会員6名が協力し、コーナーへの来場者は290名で総来場者数は5089名であった。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士、関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-11 調理補助講習事業への協力事業（事業部）

（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の求めに応じて、派遣就業を希望する高齢者の就業機会の拡大を図るため、調理補助者などとして必要な知識を習得することを目的として、調理実習と講話を実施してきたが、依頼がなかった。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-12 千葉県学校保健学会への協力事業（学校健康教育）

12月14日（土）聖徳大学で行われた第23回千葉県学校保健学会のワークショップに参加した。健康教育、学童期における食育の推進、和食文化の継承というテーマで、今年度は、和食の正しい配膳方法について学ぶ教材の作成を行った。

【①栄養士・管理栄養士、関連職種 ②主催団体の行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士、関連職種 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-13 ウェルネスセミナー開催への協力事業（事業部）

大塚製薬（株）から依頼を受け、10月23日（水）イオン・マリソピア店においてイオンリテール株式会社主催で「元気を毎日過ごそう!」のテーマで講演を行い、参加者は24名であった。

【①県民 ②主催団体の行う広報、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-14 災害時栄養支援事業（総務部）

会議を定期的に開催し事業の円滑な実施に努めた。JDA-DATリーダーの確保は、会員に日本栄養士会の開催する研修会への参加を奨励したが、遠隔地の開催のためか参加はなかった。スタッフの確保は、「日本栄養士会災害支援チーム活動マニュアル」を基に企画し、10月26日（土）、27日（日）に千葉県こども病院で開催し、32名（会員外7名）が参加したが台風15号の影響により講師が一部変更になった。会員からの「非常災害に備えた取り組み」は台風15号への対応が報告され、千葉市緑消防署の協力を得て災害時の応急処置・救命救急を行い、「短時間救命講習会参加証」が交付された。併せて、修了証を交付するとともに日本栄養士会に「JDA-DATスタッフ登録証」の発行を依頼した。参加者にDAT千葉への登録を依頼し19名が登録を行った。DAT千葉の登録時にメールアドレスの記載の徹底を図るためホームページに平成29年度からの研修会受講者を対象に登録依頼文書と登録申込書を掲載し、提出を受けて名簿の充実を図った。

日本栄養士会の作成した「各都道府県栄養士会災害対応におけるアクションカード運用マニュアル」を基に「アクションカード」の理解と見直しを図り、災害発生時の迅速・円滑な支援体制の整備を図ることとし検討を行った。

非常災害に備えた食料確保の啓発普及として千葉日報・現代食考に2回記事を掲載するほか、ホームページ「災害時に備えた食料」について台風15号の被害などを踏まえて内容の充実を図った。日本栄養士会の依頼を受け、県内2カ所で行われた催しにDAT千葉の会員7名が参加し、日本栄養士会の支援活動、非常食、液体ミルクの紹介などを行った。

台風15号被害への対応は、9月11日（水）非常災害対策委員会を開催し、災害対策本部を設置し日本栄養士会と連携し次の事業を行った。千葉県健康づくり支援課の要請を受け同課へ、①「特殊栄養食品ステーション」の設置（9月13日～12月27日まで設置）②地域での栄養支援活動として9月23日、DAT車両2台を活用し、健康づくり支援課職員3名とDAT千葉会員3名が稲南町：笑楽の湯において「お食事お困り相談」およびディサービス施設（2施設）、老人ホーム（1施設）への「栄養相談お助け隊」の活動を行った。

【①県民 ②ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-15 介護摂食嚥下等相談事業（学術部）

介護・摂食嚥下関係の食事や栄養に関して、他の関係職種の方々から本会に問い合わせがあった時に、速やかに専門的知識を有する者を紹介できるように人材を確保して対応を図ったが、問合せはなかった。

【①関連専門職種 ②ホームページ ③情報提供 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-16 栄養の日事業（事業部）

「栄養の日」（8月4日）が定められ、栄養週間（8月1日～7日）が設けられたことから、この期間に栄養の日の趣旨及び食生活の改善に関するパネル展示をダイエーいちかわコルトンプラザ店において行い、食と栄養を通じた健康づくりの普及・啓発に努めた。

また「栄養の日」の事業として、8月4日に地域住民（親子）を対象とした食育講座を同店のカフェダイニングにおいて開催した。内容は、健康づくりのための食生活の改善を図る講話を日本栄養士会を經由して提供された協賛会社のヨーグルトを試食しながら5回行い、野菜ジュースとキウイフルーツを参加者へのお土産として配付した。なお、本事業については千葉県が実施する「中食を活用しての健康づくり提案事業」への協力により行い、5回の講話のうち1回を千葉県健康福祉部健康づくり支援課と県立保健医療大学の学生とともに実施した。5回の講話の参加者は154名であった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報、毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー、展示 ④大学研究者、専門家、管理栄養士 ⑤主催、共催 ⑥非該当】

## 2-17 第39回食事療学会開催運営の協力事業（医療）

（公社）日本栄養士会が主催する第39回食事療学会が3月7日（土）、8日（日）の2日間、千葉県千葉市幕張国際研修センターにて開催される予定であったが、政府の新型コロナウイルスの感染拡大防止の呼びかけを受け、日本栄養士会が中止決定を行い、開催されなかった。

【①栄養士・管理栄養士 ②主催者の広報、ホームページ ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

## 3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

### 3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

ホームページを利用して多くの人々に千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と、食と栄養の観点から健康づくりに役立つ情報を提供した。ホームページ運営委員会を6月、11月、2月の3回開催し、運営方法の充実に努めた。各職域事業部が開催する研修会の案内を掲載するとともに、研修会終了後は研修報告を掲載した。また、研修会資料について講師の了承が得られたものに限り、一定期間会員がダウンロードできるようにした。「現代食事考・かしこく食べる」の内容の見直しを行い、最新の情報に書き換えを行った。「[地産地消] レシピ」を季節に合わせて更新した。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報新聞「現代食事考」欄に、年間執筆計画をもとに国の健康づくりに関する月間・年間行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用に関する記事を会員の協力を得て提供した。2019年度は52回分の記事提供となった。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他（記事提供） ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業（事業部）

今年度はNHK千葉放送局の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

食生活改善や疾病の予防に関するパネルを作成し、「栄養の日」、地域の健康づくりイベントや健康づくりに関する行事などに貸し出しを行った。また、ホームページで本事業を紹介した。貸し出しは3件であった。パネルの新規作成を行った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士によるパネル作成 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-5 千葉県中小企業団体中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業（広報部）

千葉県中小企業団体中央会情報誌「中小企業ちば」の「食と健康ワンポイント」欄に年4回記事を提供し、県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。

【①県民 ②中小企業団体中央会「情報誌」 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

### 3-6 湯けむり横丁・みはま「湯けむり新聞」への記事の提供事業（広報部）

本事業は平成30年度で終了した。

### 3-7 千葉県国民健康保険団体連合会「機関紙」への記事の提供事業（広報部）

千葉県国民健康保険団体連合会「機関紙」に旬の食材を使ったレシピを5回掲載した。レシピ作成・料理については地域活動事業部会員の協力を得て行い、県民の健康維持に役に立てられるように支援した。

【①県民 ②千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、講演会、展示会、集会などの内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや自治体の広報誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師は、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することをおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に関係する事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、栄養士・管理栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上(公益認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」(公益法人認定法別表19号)にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上(公益認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」(公益法人認定法別表19号)にも該当する。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築。(2)2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。(3)3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組みこととおして、県民の食環境を望ましいものにすべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。</p> <p>以下に、2019年度事業の実施概要を記載する。</p>	
<b>IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業(定款第4条第1項第4号)</b>	
<b>1. 連携構築事業</b>	
<b>1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力(総務部、事業部)</b>	
<p>関係機関、団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しに協力して、健康づくりや疾病予防に関する各種事業の推進を通じて、連携の強化を図った。2019年度の状況は以下のとおり。</p> <p>&lt;関係機関・関係団体&gt;</p> <p>(公社)千葉県医師会、(一社)千葉県歯科医師会、(公社)千葉県看護協会、(一社)千葉県歯科衛生士会、(一社)千葉県調理師会、(一社)千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食連合会、(公財)ちば県民保健予防財団、(一社)千葉県薬剤師会</p> <p>&lt;関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織&gt;</p> <p>障害児(者)のための摂食嚥下指導事業推進委員会、千葉県小児保健協会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議・講習会</p> <p>&lt;催しへの協力&gt;</p> <p>以下の催しの「料理審査担当」を務めるとともに、「栄養士会長賞」の授与を行った。</p> <p>(一社)千葉県調理師会主催:調理師大会「料理コンクール」、千葉県歯科衛生士会主催:「かむ子・のびる子、元気な子」料理コンクール、八千代市主催:「八千代市野菜たっぷりメニューコンテスト」</p> <p>【①県民 ②主催団体の広報 ③その他(情報発信) ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<b>1-2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業(事業部)</b>	
<p>特定給食施設で共に働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格率の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、(一社)千葉県調理師会が行う調理師試験準備講習会の開催・運営に協力した。平成28年度から本会が公衆衛生、栄養学、食品学、調理理論、食文化概論を担当して実施している。8月21日~9月13日の間に県内5会場で開催された講習会に延べ24名(講師12名)が講師を務めた。講習会の実施にあたって、調理師試験対策委員会および準備講習会講師合同会議を開催し、調理師試験の概要、受験準備講習会の趣旨、講師を務めるにあたっての留意事項などについて共通理解を深め講習内容の充実に努めた。</p> <p>【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】</p>	
<b>1-3 「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づく講習会への協力事業(事業部)</b>	
<p>平成28年4月1日からの県条例の施行に伴い、(一社)千葉県調理師会の本部、支部が実施することになった講習会の開催にあたり、前年度に引き続き受験準備講習会の講師が「栄養と健康」「食文化」のほか依頼により「食品衛生」を担当して、研修会の適正・円滑な実施に協力した。4会場で開催した講習会において4名が講師として運営に協力した。</p> <p>【①調理師 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】</p>	
<b>2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業</b>	
<b>2-1 栄養改善奨励賞の授与(学術部、総務部)</b>	
<p>栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い、栄養士・管理栄養士の研究の奨励、振興を図ることを目的として行った。第20回千葉県栄養改善学会において発表された一般口演21演題を対象に推薦委員会を開催して審査を行い、次の4題を表彰に値するとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、2020年度定時総会式典において表彰することとした。</p> <p>決定した内容は、口演 5「柏市行政栄養士業務関係資料の作成」(磯村直美氏)と口演 6「入院時栄養指導介入した患者の外来継続指導での指導成果について」(戸矢静華氏)口演 14「地域と連携した授業「減塩」への取組」(大口ちぐさ氏他)口演 18「2019年9月台風15号における職場栄養調査の結果報告」(佐々木徹氏)であった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人②事務所掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準の設置 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	

### 3. 適正な食生活を支援する制度の整備

#### 3-1 栄養教諭の配置促進事業（総務部）

栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、千葉県教育委員会主管課に対して、栄養教諭の配置促進、市町村費負担の学校栄養職員への栄養教諭の門戸拡大などの要望書を千葉県教育庁に12月18日（水）会長他2名が持参し、今までの増員の結果に御礼を述べるとともに、栄養教諭を配置することの成果などのアンケート結果などを基に説明して理解を得た。

【①学校給食に携わる栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業（総務部）

日本栄養士会の要望活動趣旨に応じて実施しており、これまで、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくりの進展を目的に市町村行政栄養士の複数配置に要望活動を実施してきたが、平成30年度から高齢者の低栄養や生活習慣病重症化予防等の栄養課題への対策をより充実し効果をあげるために、健康づくり部門のみならず、高齢福祉・介護保険部門への管理栄養士の正規職員配置を促進することとなったため、県内市町村における行政栄養士の従事状況を踏まえ、配置要望を希望する14市町に対し、文書による要望活動を実施した。

【①栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-3 栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業（総務部、組織部）

高齢社会が進行し健康づくりや生活習慣病の重症化予防、介護予防などの栄養管理の重要性が高まる中、県民の要望に応えるため無料職業紹介所を開設し、ホームページなどで事業者および栄養士・管理栄養士に利用を案内し、36件の求人、2件の求職があった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-4 食品の栄養成分表示の促進事業（事業部）

消費者に食を通じた健康づくりの必要性の理解を深め、健康づくりの推進とともに、高齢者を対象とした配食サービスで提供される食事の栄養管理の充実に向け、これらの製造などに関わる事業者などの求めに応じて食品の栄養成分表示を促進するために体制の整備を図ることを計画したが、依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるように努めた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民（地域住民）の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

## V. 法人運営に関する事業

### 1. 各種事業の充実への取り組み

#### 1-1 執行体制の強化（総務部）

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会などを定期的に開催し、会議前の打合せで事業ごとに各部の所掌業務を明確にするなどにより事業の充実に努めた。

#### 1-2 事務局体制の充実（総務部）

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、事務の理解と事務処理の効率化に努めた。また会計事務の充実をもとに、経費の節減と効率的な執行に努めることなどを中心に、業務の適正かつ効率的な運営に努めた。

2名の職員の退職に伴う後任の補充について、役員および全会員に文書をもって呼びかけた。新たに2名を採用できた。

#### 1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

委員会を年2回定期的に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に努めた。

#### 1-4 職域事業部事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

7月20日（土）各部との合同により職域事業部各役員を対象に研修会および会議を実施し、今年度の事業および組織運営など基本的な事柄について理解を深めた。また、職域事業部の会計担当者を対象に会計担当者会議を6月22日（土）に開催した。職域事業部・地域事業部における会計処理方法について周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。

#### 1-5 組織財政問題検討委員会の開催（総務部）

委員会を年2回開催し、第4次組織強化長期計画の推進をはじめとする、公益社団法人としての組織強化と財政基盤の強化などについて検討を進めた。

#### 1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

会報誌「栄養千葉」および「ホームページ」に優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。年2回の展示会の開催の他、新春賀詞交歓会を開催し協賛会員との交流を深めた。

#### 1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

日本栄養士会が進めるJDA-DAT事業の推進に向け、各職域事業部からの推薦された委員による非常災害対策委員会を設置し、委員会を開催し、スタッフ研修会の開催によるスタッフの育成、非常時のスタッフ確保のためのJDA-DAT千葉への登録依頼などを実施した。

#### 1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入および事務局の作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動引き落とし」利用者の増加に向けて、会報誌「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行った。利用者は355名（昨年度より11名減）となった。

#### 1-9 財政基盤の強化（総務部）

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に努めた。併せて各種事業の経費節減に努めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書の発送を行うとともに各職域事業部と連携し電話での納入依頼などを行い、財政基盤の強化に努めた。

#### 1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

会員からの相談はなく、委員会は開催しなかった。

#### 1-11 (公社) 日本栄養士会関係会議への出席 (総務部)

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの各種関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

#### 1-12 諸規程の整備 (総務部)

栄養改善学会を円滑に実施するために必要な費用の支弁を可能とするため、1月18日(土)に「柴田顕彰会規約」の(事業)第3条を一部変更することとした。

#### 1-13 会報誌「栄養千葉」の発行 (広報部)

4月、8月、12月に131号～133号を発行した。記事は簡潔明瞭に努め、ページ数が増えないように配慮した。

#### 1-14 石井國男氏叙勲受章祝賀会 (総務部)

石井國男先生が令和元年春に旭日単光章を受章したのを祝い、9月26日(木)に県および関係団体、協賛会員、会員等の参加を得て祝賀会を開催した。

#### 1-15 長谷川克己氏叙勲受章祝賀会 (総務部)

長谷川克己先生が令和元年秋に旭日双光章を受章したのを祝い、3月4日(水)に県および関係団体、協賛会員、会員等の参加を得て祝賀会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大が著しい状況を受け、延期することとした。

### 2. 第4次組織強化長期計画の推進 (組織部)

第4次組織強化長期計画は重点事業を定めて事業を進めることとした。重点事業の実施状況は、下記の通りである。

#### 1. 執行体制・事務局体制の整備

##### (1) 執行体制の整備

事業および会議の年間予定表を作成し、これをもとに理事会をはじめとする会議を定期的に開催した。会議の開始前に次第に従って主要な事項については関係役員が打合せを行い、役員間の意見の調整や意志統一を図り、事業の充実に努めた。

##### (2) 事務局体制の整備

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、会員管理事務をはじめとする事務業務の充実に努めた。

#### 2. 会員の拡充

##### (1) 学生会員制度の検討

栄養士会の活動を知ってもらうために、どのような方法が学生や本会にとって良いか検討した。

将来的には制度化について考える余地を残し、現段階では学生に栄養士や栄養士会の活動をアピールしていくこととする。

##### (2) 校外実習・臨地実習の充実

養成施設側・実習受け入れ側、双方が意見交換できる場を考えていく。

##### (3) 新入会員に対する研修会参加費の軽減

現時点では検討しない。

##### (4) 休学生会員制度の検討

実施している県を参考に検討したが、まだ結論は出せない。継続して検討する。

##### (5) 会員意識の高揚

各種の研修会を通じて務めた。

#### 3. 基幹研修・職域研修の充実

##### (1) 基幹研修の充実

基幹研修の科目の充実については、参加状況などを踏まえ、生涯教育委員会を開催し、基本研修を5～7単位組み入れ、各職域事業部から翌年度に実施したい実務研修科目を持ち寄って調整し、5日間の日程で計画を作成した。

生涯教育の内容の充実と参加者の確保については、職域事業部の事業説明会や研修会を通じて受講の奨励、前年度参加者へ再度の開催案内の送付などを行った。

##### (2) 職域研修の充実

職域事業部の研修の充実については、他職域事業部との共催や他職域事業部からの参加を募るなど、効率的な運営に努めた。また、アンケート調査や会員の声などをもとに、より求められる内容での開催に努めた。

研修会のチラシにQRコードを付けるなど、若い方たちが容易に研修会に参加できる仕組み作りを行った。研修会の開催方法は単に受講するだけでなくグループワークを行い、仲間作りができる工夫をした。

会員外の高齢者施設に研修会の開催案内と「入会案内」を送付するとともに、研修会時にも「入会案内」を配布した。

#### 4. 県民の健康づくりを支援する事業の充実

##### (1) 人材の確保

各種の県民の健康づくりを支援する事業の充実に向けて、栄養千葉発行時に人材登録の案内および登録用紙を同封して人材の確保に努めた。

非常災害対策委員会で検討・準備を進め、千葉県子ども病院においてJDA-DATスタッフ研修会を開催し、32名が参加した。非常災害が発生した時に、効率よく協力依頼ができるよう人材登録を行い、19名が登録を行った。

栄養士会事務所において、よりソリプロジェクト・人材育成研修会を開催したが、台風15号の影響があり、参加人数は4名であった。

##### (2) 個別特性対応型自律支援事業の充実

平成29年9月から中建国保千葉土建の保健指導の受診率の向上をはかるため、健診時に腹囲のほかにリスクが1つ以上ある者を対象に初回面談が行われることになり、管理栄養士5名の参加を求められた。2020年度にむけて、人材の確保・研修を行って円滑に実施できるように準備した。

##### (3) 集団特性対応型自律支援事業の充実

食育健康料理教室参加者にアンケート調査を行い、教室の参加者の評価を明確にすることができ、今後の内容の充実に向けた事項を的確に把握することができた。

#### 5. 食環境の整備を進める事業の充実

関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会に参画するとともに、催しへ積極的に協力して、連携構築に努めた。

#### 6. 法人運営に関する事業

##### (1) 非常災害時支援体制の整備

台風15号被害への対応として、災害対策本部を設置し日本栄養士会と連携し、千葉県健康づくり支援課の要請を受け「特殊栄養食品ステーション」(9月13日～12月27日)を設置した。

##### (2) 諸規程の整備

栄養改善学会を円滑に実施するために、「柴田顕彰会規約」を一部変更した。

### 3. 会議の開催

#### 理事会

第1回 平成31年4月13日(土)

1. 平成30年度収支決算および監査報告について
2. 2019年度定時総会の開催運営について
3. 2019年度生涯教育研修会の開催について
4. 保健指導担当者会議の開催について
5. よりソリプロジェクト・人材育成研修会の開催について
6. 栄養の日事業について
7. 健康づくり栄養講座の開催について
8. その他

第2回 令和元年5月25日(土)

1. 2019年度事業・会議予定について
2. 2019年度事業の執行について
3. 2019年度生涯教育研修会の開催運営について
4. 栄養千葉132号・栄養士会雑誌28号発行計画兼原稿計画書(案)について
5. その他

第3回 令和元年7月6日(土)

1. 2019年度事業の執行について
2. その他

第4回 令和元年9月7日(土)

1. よりソリプロジェクト人材育成研修会の開催について
2. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
3. 石井國男先生叙勲受章祝賀会の開催運営について
4. JDA-DATスタッフ研修会の開催運営について
5. 健康づくり栄養講座の開催運営について
6. 栄養千葉133号(12月号)・栄養士会雑誌29号発行計画兼原稿依頼(案)について
7. 千葉県栄養改善学会の開催について
8. その他

第5回 令和2年1月18日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 2019年度事業計画・収支決算の取りまとめについて
3. 令和2年度生涯教育研修会の開催について
4. 令和2年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 令和2・3年度役員の選任について
6. 令和2年度定時総会の開催について
7. 2019年度収支見込みと事業の見直しについて
8. 長谷川克己先生叙勲受章祝賀会の開催について
9. 柴田顕彰会規約の一部変更について
10. その他

第6回 令和2年3月14日(土)

1. 2019年度事業報告案の作成について
2. 2020年度事業計画・収支予算の決定について
3. 2020年度生涯教育研修会の日程について
4. 2020年度定時総会の開催について
5. 入会申込者の承認について
6. その他

※新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、会議を開催せず、書面決議となった。

#### 部長会

第1回 令和元年5月11日(土)

1. 2019年度定時総会の開催運営について
2. 生涯教育研修会の開催運営について
3. 2019年度事業の執行について
4. 2019年度事業・会議予定について
5. 栄養千葉132号(8月)・栄養士会雑誌28号発行計画兼原稿計画書(案)について
6. その他

第2回 令和元年6月15日(土)

1. 2019年度事業の執行について
2. その他

第3回 令和元年8月24日(土)

1. よりソリプロジェクト人材育成研修会の開催について
2. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
3. 石井國男先生叙勲受章祝賀会の開催運営について
4. JDA-DATスタッフ研修会の開催運営について
5. 健康づくり栄養講座の開催運営について
6. 栄養千葉133号(12月号)・栄養士会雑誌29号発行計画兼原稿依頼(案)について
7. 千葉県栄養改善学会の開催について
8. その他

第4回 令和元年11月16日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 2019年度事業計画・収支決算の取りまとめについて
3. 令和2年度生涯教育研修会の開催について
4. 令和2年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 令和2・3年度役員の選任について
6. 令和2年度定時総会の開催について
7. 2019年度収支見込みと事業の見直しについて
8. 長谷川克己先生叙勲受章祝賀会の開催について
9. その他

第5回 令和2年2月22日(土)

1. 2019年度事業報告案の作成について
2. 令和2年度事業計画・収支予算案の作成について
3. 令和2年度生涯教育研修会の日程について
4. 令和2年度定時総会の開催について
5. 各種委員会の構成と選出について
6. その他

# 貸借対照表

2020年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,400,454	14,477,385	△ 76,931
前払費用	295,663	281,676	13,987
流動資産合計	14,696,117	14,759,061	△ 62,944
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	7,468,794	8,262,855	△ 794,061
基本財産合計	7,468,794	8,262,855	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,406,245	2,286,226	120,019
医療機関栄養業務実態調査預金	995,035	685,035	310,000
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,597,251	3,533,895	63,356
特定資産合計	7,598,531	7,105,156	493,375
(3) その他固定資産			
什器備品	14,861	16,678	△ 1,817
ソフトウェア	1	67,652	△ 67,651
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	314,862	384,330	△ 69,468
固定資産合計	15,382,187	15,752,341	△ 370,154
資産合計	30,078,304	30,511,402	△ 433,098
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	4,600,000	4,406,500	193,500
預り金	2,959,650	2,847,206	112,444
流動負債合計	7,559,650	7,253,706	305,944
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,403,670	2,283,670	120,000
固定負債合計	2,403,670	2,283,670	120,000
負債合計	9,963,320	9,537,376	425,944
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2. 一般正味財産	20,114,984	20,974,026	△ 859,042
(うち基本財産への充当額)	(7,468,794)	(8,262,855)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(7,598,531)	(7,105,156)	(493,375)
正味財産合計	20,114,984	20,974,026	△ 859,042
負債及び正味財産合計	30,078,304	30,511,402	△ 433,098

# 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
② 特定資産運用益	991	50	941
特定資産受取利息	991	50	941
③ 受取入会金	116,000	131,000	△ 15,000
受取入会金	116,000	131,000	△ 15,000
④ 受取会費	17,575,000	18,404,000	△ 829,000
受取会費	14,625,000	15,354,000	△ 729,000
受取協賛会費	2,950,000	3,050,000	△ 100,000
⑤ 事業収益	6,736,479	7,150,524	△ 414,045
受取受講料 (会員)	1,523,200	1,411,900	111,300
受取受講料 (会員以外)	428,500	407,200	21,300
受取分担金	1,513,000	1,570,000	△ 57,000
受取業務手数料	2,831,779	3,479,424	△ 647,645
受取事業協賛金	440,000	280,000	160,000
販売収益	0	2,000	△ 2,000
⑥ 受取補助金	26,000	46,000	△ 20,000
受取補助金	26,000	46,000	△ 20,000
⑦ 受取寄付金	300,000	300,000	0
受取寄付金	300,000	300,000	0
⑧ 雑収益	246,301	215,043	31,258
受取利息	76	8,613	△ 8,537
雑収益	246,225	206,430	39,795
経常収益計	25,000,771	26,246,617	△ 1,245,846
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	5,072,411	5,318,640	△ 246,229
臨時雇賃金	238,950	256,500	△ 17,550
退職給付費用	96,000	96,000	0
福利厚生費	558,482	516,240	42,242
会議費	831,591	595,056	236,535
旅費交通費	1,315,249	1,477,018	△ 161,769
通信運搬費	1,370,543	1,288,914	81,629
減価償却費	604,471	623,422	△ 18,951
消耗品費	1,491,954	1,107,712	384,242
印刷製本費	818,746	816,269	2,477
光熱水料費	209,016	214,898	△ 5,882
賃借料	630,000	630,000	0
保険料	75,581	73,171	2,410

科 目	当年度	前年度	増 減
諸謝金	2,890,067	2,952,253	△ 62,186
会場費	534,375	591,029	△ 56,654
リース料	299,074	311,673	△ 12,599
食料費	244,946	252,804	△ 7,858
支払負担金	340,232	327,807	12,425
渉外費	50,000	40,000	10,000
表彰費	44,212	22,203	22,009
租税公課	42,910	42,910	0
雑費	139,751	126,690	13,061
事業費計	17,898,561	17,681,209	217,352
② 管理費			
役員報酬	360,000	360,000	0
給料手当	1,268,102	1,329,659	△ 61,557
退職給付費用	24,000	24,000	0
福利厚生費	139,620	129,060	10,560
会議費	468,823	684,498	△ 215,675
旅費交通費	125,369	142,528	△ 17,159
通信運搬費	245,067	234,702	10,365
減価償却費	259,058	267,180	△ 8,122
消耗品費	234,273	227,534	6,739
印刷製本費	1,681,721	1,623,143	58,578
光熱水料費	89,519	92,098	△ 2,579
賃借料	270,000	270,000	0
保険料	7,011	7,043	△ 32
諸謝金	556,672	592,530	△ 35,858
会場費	76,065	53,833	22,232
リース料	128,174	133,573	△ 5,399
食料費	1,517,683	1,447,187	70,496
支払負担金	89,895	96,107	△ 6,212
渉外費	175,665	156,179	19,486
表彰費	54,415	37,987	16,428
租税公課	20,227	21,325	△ 1,098
雑費	169,893	142,232	27,661
管理費計	7,961,252	8,072,398	△ 111,146
経常費用計	25,859,813	25,753,607	106,206
当期経常増減額	△ 859,042	493,010	△ 1,352,052
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 859,042	493,010	△ 1,352,052
一般正味財産期首残高	20,974,026	20,481,016	493,010
一般正味財産期末残高	20,114,984	20,974,026	△ 859,042
II 正味財産期末残高	20,114,984	20,974,026	△ 859,042

2019年度正味財産増減計算書内訳表

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計	備 考
	公1	公2	公3	公4	公益共通	公益事業計			
	科学技術 振興事業	人材育成 事業	自律支援 事業	食環境 整備事業					
1 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息									
特定資産運用益									
特定資産受取利息	0	936	0	36	0	972	19	991	
受取入会金									
受取入会金	0	0	0	0	58,000	58,000	58,000	116,000	新入会者116名
受取会費									
受取会費	0	0	0	0	7,312,500	7,312,500	7,312,500	14,625,000	会員1460名(30年度2名含む)、職域事業部10名
協賛会費	0	0	0	0	2,950,000	2,950,000	0	2,950,000	
事業収入									
受取受講料(会員)	0	1,303,200	220,000	0	0	1,523,200	0	1,523,200	生涯教育研修会参加費他
受取受講料(会員以外)	0	0	0	0	0	0	0	428,500	研修会参加費、食育健康料理教室材料費
受取分担金	0	0	30,000	0	0	30,000	1,483,000	1,513,000	改善大会・食生活講演会、賀詞交歓会参加費
受取業務手数料	0	333,208	1,789,371	495,000	68,100	2,685,679	146,100	2,831,779	栄養ケアステーション事業、封入手数料
受取事業協賛金	50,000	0	390,000	0	0	440,000	0	440,000	研修会、ホームページ協賛金
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金等									
受取補助金	0	0	26,000	0	0	26,000	0	26,000	千葉県健康づくり大会
受取寄付金									
受取寄付金	0	0	0	300,000	0	300,000	0	300,000	柴田顕彰会基金
雑収益									
受取利息	23	13	0	0	20	56	20	76	受取利息
雑収益	0	6,846	0	0	0	6,846	239,379	246,225	総会、改善大会、賀詞交歓会他
経常収益計	50,023	1,644,203	2,455,371	795,036	10,388,620	15,333,253	9,239,018	25,000,771	
(2)経常費用									
事業費									
給料手当	841,512	2,309,978	1,611,504	309,417		5,072,411		5,072,411	職員給料・手当
臨時雇賃金	0	12,000	226,950	0		238,950		238,950	繁忙期臨時雇用職員
退職給付費用	15,926	43,719	30,499	5,856		96,000		96,000	
福利厚生費	92,652	254,334	177,429	34,067		558,482		558,482	社会保険、労働保険、健康診断
会議費	44,264	559,083	214,559	13,685		831,591		831,591	
旅費交通費	212,197	604,590	431,814	66,648		1,315,249		1,315,249	
通信運搬費	360,362	836,171	160,253	13,757		1,370,543		1,370,543	栄養士会雑誌等発送費を含む
減価償却費	100,281	275,278	192,040	36,872		604,471		604,471	建物、什器備品
消耗品費	295,651	466,656	699,385	30,262		1,491,954		1,491,954	事務機器他消耗品
印刷製本費	413,136	326,757	74,154	4,699		818,746		818,746	封筒、振替用紙、入会案内他
光熱水料費	34,652	95,263	66,360	12,741		209,016		209,016	電気・ガス・水道
賃借料	104,517	286,902	200,151	38,430		630,000		630,000	事務所地代
保険料	11,381	34,381	24,911	4,908		75,581		75,581	
諸謝金	178,192	1,207,029	1,126,846	378,000		2,890,067		2,890,067	生涯教育他講師等謝金
会場費	22,500	417,500	94,375	0		534,375		534,375	
リース料	49,616	136,200	95,015	18,243		299,074		299,074	事務機器リース料
食料費	128,720	93,081	23,145	0		244,946		244,946	
支払負担金	34,798	95,525	186,114	23,795		340,232		340,232	レンタルサーバー料、防犯契約
渉外費	0	0	0	50,000		50,000		50,000	
表彰費	0	0	0	44,212		44,212		44,212	栄養改善奨励賞
租税公課	7,118	19,543	13,632	2,617		42,910		42,910	
雑費	21,348	79,614	35,915	2,874		139,751		139,751	
事業費計	2,968,823	8,153,604	5,685,051	1,091,083	0	17,898,561		17,898,561	
管理費									
役員報酬							360,000	360,000	監事
給料手当							1,268,102	1,268,102	職員給料・手当
退職給付費用							24,000	24,000	
福利厚生費							139,620	139,620	社会保険、労働保険、健康診断
会議費							468,823	468,823	栄養改善大会含む
旅費交通費							125,369	125,369	
通信運搬費							245,067	245,067	電話料、メール便、切手
減価償却費							259,058	259,058	建物、什器備品
消耗品費							234,273	234,273	事務機器他消耗品
印刷製本費							1,681,721	1,681,721	栄養千葉、封筒、振替用紙他
光熱水料費							89,519	89,519	電気・ガス・水道料
賃借料							270,000	270,000	事務所地代
保険料							7,011	7,011	
諸謝金							556,672	556,672	税理士、司法書士謝金
会場費							76,065	76,065	改善大会含む
リース料							128,174	128,174	事務機器リース料
食料費							1,517,683	1,517,683	総会、改善大会、賀詞交歓会他
支払負担金							89,895	89,895	防犯契約、日赤他への寄付
渉外費							175,665	175,665	
表彰費							54,415	54,415	
租税公課							20,227	20,227	
雑費							169,893	169,893	
管理費計	0	0	0	0	0	0	7,961,252	7,961,252	
費用合計	2,968,823	8,153,604	5,685,051	1,091,083	0	17,898,561		25,859,813	
公益事業比率	11.5	31.5	22.0	4.2	0.0	69.2	30.8		

# 財産目録

2020年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			
現金	手元保管		
	現金	運転資金として	97,031
	職域事業部・千葉地域事業部現金	運転資金として	127,236
普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
	普2006576	運転資金として	319,293
	普2020609	運転資金として	801,987
	普3192700	運転資金として	7,672
	普3409598	運転資金として	341,767
	千葉信用金庫作草部支店		
	普0682242	運転資金として	321,715
	普0685151	運転資金として	1,769,244
普通貯金	ゆうちょ銀行		
	10580-15293221	運転資金として	50,139
	10570-30174421	運転資金として	728,465
	10530-10135981	運転資金として (公衆衛生)	124,290
	10520-37125371	運転資金として (医療)	22,602
	10520-54350591	運転資金として (地活)	117,784
	10130-79051931	運転資金として (研教)	183,514
	10540-39470871	運転資金として (学校)	209,811
	10540-9029131	運転資金として (福祉)	326,075
振替口座	ゆうちょ銀行		
	00110-7-779711	運転資金として	222,654
	00180-2-94011	運転資金として	7,924,265
	00180-0-576091	運転資金として	704,910
		<b>【現金預金計】</b>	<b>14,400,454</b>
前払費用	千葉県教育会館に対する前払額	栄養改善大会会場代の内金	10,000
	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	72,270
	千葉市文化振興財団に対する前払額	生涯教育研修会会場費	168,740
	千葉県教育会館他に対する前払額	各協議会経費の前払額	22,010
	長谷川克己先生祝賀会に対する前払額	祝賀会前払額	22,643
		<b>【前払費用計】</b>	<b>295,663</b>
流動資産合計			14,696,117

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)				
基本財産	建物	115.7㎡ 千葉県若葉区殿台町1-2-2 平屋1階建	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0% <b>【基本財産計】</b>	7,468,794  7,468,794
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた積立資産である。	2,406,245
	医療機関栄養業務実態調査預金	ゆうちょ銀行	県内医療機関栄養業務実態調査事業の積立資産である。	995,035
	全国公衆栄養活動研究会預金	ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の積立資産である。	600,000
	柴田顕彰会預金	千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するための事業の積立資産である。 <b>【特定資産計】</b>	3,597,251 7,598,531
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	14,861
	ソフトウェア	会計ソフト		1
	敷金・保証金	紅谷正男氏に対する敷金支払額 紅谷正男氏に対する保証金支払額	敷金として 保証金として <b>【その他固定資産計】</b>	150,000 150,000 314,862
固定資産合計				15,382,187
資産合計				30,078,304
(流動負債)				
	前受会費	会員からの預り額	2020年度の会費及び入会金の預り額 公衆衛生 64名分 医療 149名分 学校 31名分 福祉 94名分 地活 110名分 研教 15名分 <b>【前受会費計】</b>	640,000 1,462,500 309,000 936,500 1,102,000 150,000 4,600,000
	預り金	会員からの預り額 2019・2020年度分 職員、税理士他からの預り額 長谷川克己先生祝賀会祝い金	日栄会費の預り額 442名分 源泉所得税の預り額 祝賀会祝い金預かり額 6名分 <b>【預り金計】</b>	2,872,000 49,650 38,000 2,959,650
流動負債合計				7,559,650
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの <b>【退職給付引当金計】</b>	2,403,670 2,403,670
固定負債合計				2,403,670
負債合計				9,963,320
正味財産				20,114,984

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。  
什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。
- (2) 引当金の経常基準  
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	8,262,855	0	794,061	7,468,794
小 計	8,262,855	0	794,061	7,468,794
特定資産				
退職給付引当資産	2,286,226	120,019	0	2,406,245
医療機関栄養業務実態調査預金	685,035	310,000	0	995,035
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,533,895	300,036	236,680	3,597,251
小 計	7,105,156	730,055	236,680	7,598,531
合 計	15,368,011	730,055	1,030,741	15,067,325

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	7,468,794	0	(7,468,794)	0
小 計	7,468,794	0	(7,468,794)	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,406,245	0	(2,406,245)	(2,406,245)
医療機関栄養業務実態調査預金	995,035	0	(995,035)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,597,251	0	(3,597,251)	0
小 計	7,598,531	0	(7,598,531)	(2,406,245)
合 計	15,067,325	0	(15,067,325)	(2,406,245)

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	17,262,213	9,793,419	7,468,794
什器備品	1,495,829	1,480,968	14,861
ソフトウェア	338,256	338,255	1
合 計	19,096,298	11,612,642	7,483,656

以上のとおり相違ありません。

2020年4月9日

公益社団法人 千葉県栄養士会  
会長 杉崎 幸子 印  
副会長 鯨岡 春生 印  
副会長 高澤 博道 印

## 監 査 報 告 書

公益社団法人千葉県栄養士会  
会長 杉崎 幸子 様

2020年4月9日

公益社団法人千葉県栄養士会  
監 事 石橋 裕子 

公益社団法人千葉県栄養士会  
監 事 酒井 秀大 

私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
  - 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
  - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果  
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。